

		大田原キャンパス			
科目名	総合講義 ～超高齢社会とジェロントロジー～《市民開放授業》		授業開始年度	2018 年度	
科目担当責任者	谷口 敬道	科目担当者	佐藤 妙子、小林 薫、関 優樹、松本 明美、原 直人、岩本 俊彦、須藤 昌寛、辻 稔		
学科	全学科		学年	全学年	
曜日時限	水曜 6 限	必修/選択	選択	単位数	1
授業の形態	講義		期	後期前半	
			時間数	15 時間	

授業の概要 (主題)	<p>超高齢社会とジェロントロジー ～ 認知症の方が積極的に役割を持って地域の中で生きる～</p> <p>わが国の認知症高齢者の数は、2012(平成 24)年で 462 万人と推計されており、2025(平成 37)年には約 700 万人、65 歳以上の高齢者の約5人に1人に達することが見込まれている。今や認知症は誰もが関わる可能性のある身近な病気である。</p> <p>認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができ、誰もが真に長生きを喜べる「長寿社会」の在るべき姿について、学び考える。</p>
授業の到達目標	<p>①超高齢社会を支える社会システムの概要を理解する。</p> <p>②超高齢社会において自分(達)はどんな役割が發揮できるかを考えてまとめる。</p>

授業計画		
回数	内容	担当
第 1 回	認知症を理解する 認知症になっても元気に生きる	谷口 敬道 関 優樹
第 2 回	認知症になっても元気に生きる 認知症の方に寄り添うコミュニケーション	関 優樹 佐藤 妙子
第 3 回	加齢に伴う視機能の変化と眼疾病 認知症に用いる薬の種類と役割	原 直人 辻 稔
第 4 回	認知症の人とその家族に対するケア	須藤 昌寛
第 5 回	脳活き活き！認知症予防アクティビティの実践	松本 明美
第 6 回	認知症(予防)と運動 —なぜ、運動が脳にいいの？	小林 薫
第 7 回	もの忘れ外来における認知症治療	岩本 俊彦
第 8 回	認知症に関係する制度について	小林さと子(大田原市 役所高齢者幸福課) 他 1 名

準備学習 学習へのアドバイス	<p>市民開放授業として市民の方々の参加がある。</p> <p>認知症に関する理解を深め、認知症の方が積極的に役割を持って地域の中で生きる方法を市民とともに学び、考える。(予習復習各 30 分目標)</p>
-------------------	---

教科書	特に指定しない
参考書	適宜紹介する。